

地域連携NEWS



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

医療サービス推進課医療連携室
Vol.70 2017年9月発行

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL03(3964)1141(代表)

FAX03(3964)1392(連携室)

耳鼻咽喉科の取り組み～補聴器外来の開設



耳鼻咽喉科医長
高橋 正時

当センターの耳鼻咽喉科では高齢者の耳鼻咽喉領域の様々な疾患に対応して治療を行っています。その中でも私たちは高齢者の聴覚障害に対する診断と治療を積極的に行っております。高齢者の難聴は多くは加齢性難聴であり、加齢に伴う聴覚障害を有しています。そのため、聞こえが悪いのは加齢のせいだと決めつけられて原因も特定されないまま、コミュニケーションで不自由を感じて日常生活を送っている高齢者は少なくありません。また聞こえをよくしたいという理由から販売店などで補聴器を購入し、適切な指導を受けないまま補聴器を使いこなせていないケースも多く見受けられます。日常診療においても聞こえの悪い患者さんに思うような指示が入らずに問診の聴取、治療の説明が難しいケースも多く経験されていると思います。当センターの取り組みとして高齢者の難聴に対する適切な診断を行い、耳垢などが原因となる場合には外来処置を行い、慢性中耳炎、滲出性中耳炎など手術での聴力の

改善する見込みのある高齢者には積極的な治療をお勧めしております。また、加齢性難聴などの治療による聴覚改善の見込めない難聴に対しては補聴器の装用をお勧めしております。補聴器は個人の聴力に合わせた選択が重要であり、両耳装用か片耳装用の判断や補聴器の種類を選択を補聴器相談医が介入して適切な補聴器を作成することが推奨されております。また適切に補聴器を装用できているのか、装用後にトラブルがないかをフォローアップすることも重要となります。当センターでは補聴器専門外来を開設し、適切な補聴器の選択、装用指導を行っております。また、適切なフィッティングが行われているかを補聴器適合検査で確認し、聞こえる耳を獲得するための聴覚リハビリテーションを行っております。聞こえが悪いために意思疎通が難しい患者さんや補聴器を装用していても聞こえが悪くお困りの患者さんがいましたら当センターでの検査をお勧めしていただくと幸いです。



補聴器適合検査に使用するオージオメーターとスピーカー

予約専用電話	検査予約	医療連携室	
外来受診予約専用番号 03(3964)4890 対応時間 月～金 9:00～17:00 当センターは紹介予約制です。ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。	代表電話番号 03(3964)1141 対応時間 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度(内線2171) ◎RI(SPECT、PET検査)(内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応を行っております。	医療連携についての問い合わせ 03(3579)6963 医療連携室FAX番号 03(3964)1392 ホームページ： http://www.tmg Hig.jp/ (過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。)	<ul style="list-style-type: none"> ●東武東上線 「大山」駅下車南口・北口より徒歩4分 ●都営地下鉄三田線 「板橋区役所前」駅下車A3出口より徒歩11分 <p style="text-align: center;">東京都健康長寿医療センター</p>

外来持続血糖モニタリング(CGM)、CGM外来の運用開始について



糖尿病・代謝・内分泌内科
医長 田村 嘉章

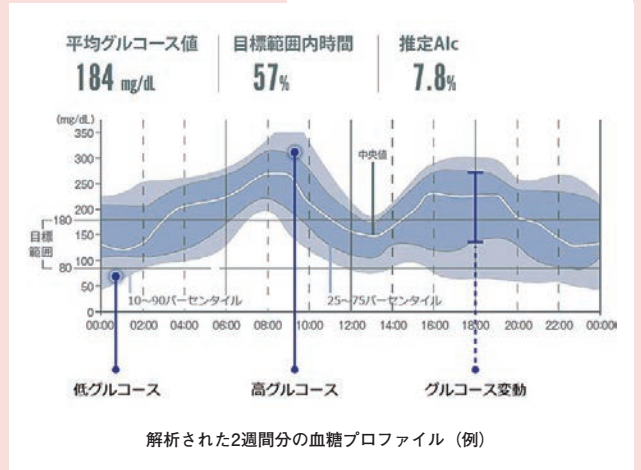
このたび、当科では、外来における持続血糖モニタリング(CGM)の運用を開始しました。CGMは、皮下に留置したセンサーに頻回(15分おき)かつ長時間(最長14日)にわたりグルコース値を記録できるものです。従来の自己血糖測定(SMBG)では検出しえなかったグルコース変動や、無自覚性低血糖を検出するうえで有用なツールで、すでに保険適応となっています。

CGMは500円玉サイズのセンサーを患者様の上腕伸側に専用の穿孔器で装着し、専用のリーダーと呼ばれる読み取り機でデータを読み取ります。CGMは最大14日装着後にセンサーを外し、医療スタッフがデータ解析を行います。センサー装着中も入浴が可能です。

CGMの保険適応としては、1.治療方針策定のために血糖プロフィールを必要とする1型糖尿病患者、あるいは2.低血糖発作を繰り返す等重篤な有害事象がおきている血糖コントロールが不安定な2型糖尿病患者であって、医師の指示に従い血糖コントロールを行う意志のある者、とされており、センサー、実施料をあわせた保険算定が1380点となっています。なお、妊娠中の女性、人工透析を受けている患者様、6歳未満の患者様、ペースメーカーなどほかの埋め込み式医療機器を使用中の患者様には禁忌となっているほか、センサー装着中の放射線検査は受けられませんのでご注意ください。

今後当科では、CGMの専門外来を開設する予定です(金曜日午前)に予定:詳細につきましては追ってご紹介いたします)。CGMの適応があると思われる、低血糖や大きな血糖変動が疑われる患者様がおられましたら是非当科外来にご紹介ください。

なお、今年度中には、患者様個人用のフラッシュグルコースモニタリング(FGM)も保険適応となる見込みです。FGMは患者様自身が随時の血糖を採血なしにいつでも確認できるシステムで、スーパーSMBGとも呼ぶべきものです。運用開始となりましたらご案内申し上げますので、こちらもよろしくお願いたします。



連携医療機関のご紹介 城北公園クリニック



院長 三宅 正純

当クリニックは練馬・板橋区境界のすぐ東側 城北公園通り沿いに位置し、最寄駅は東武東上線の上板橋駅、有楽町線の氷川台駅です。平成11年11月に練馬区錦に開業し、平成25年10月に当地に移転しました。

私は広島県出身、愛媛大学卒で、東京に来て22年になります。未だに広島弁が抜けませんが、診療圏内の患者さんには、温かく受け入れていただき、現在に至っております。診療科目は内科・外科ほかを標榜し、小児からご高齢の方まで幅広い年齢の患者さんがいらっしゃいます。“地域のかかりつけ医”として、患者さんの立場に立った分かりやすい説明と質の高い医療を提供できるように心がけております。設備としては、胸・腹部エコー検査、ホルター心電図検査、経鼻内視鏡検査、FORM検査、呼吸機能検査、簡易型睡眠ポリグラフィー検査等を揃えております。患者さんのニーズに応え、在宅医療、インスリン等の在宅自己注射治療、CPAP治療、禁煙治療、ED,AGA治療も行っております。

消化管出血や肺炎、虚血性心疾患など、迅速な対応が必要な場合のみならず、認知症や慢性疾患、悪性疾患の診断治療に苦慮する場合にも、東京都健康長寿医療センターの先生方をはじめスタッフの皆様には、時間外の場合でも、いつも迅速な対応、詳細なご報告をいただき大変感謝しております。今後とも、緊密な医療連携を心がけていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

城北公園クリニック

東京都練馬区氷川台4丁目7番1号
TEL: 03-5922-6333

診療科: 内科、外科、胃腸科、肛門科、循環器科、呼吸器科、整形外科

休診日: 日曜・祭日

診療時間:

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:00~19:00	○	○	△	○	○	△	△

ホームページ: <http://jpc.bz/>